日本税政連

発行所
日本税理士政治連盟
東京都品川区大崎１－11－８
日本税理士会館（〒141-0032）
電話　03（5435）0910
定価　１部100円
編集発行人
小島　善弘

税理士政治連盟会員の購読料は会費の中に含みます。

新会長に東秀優氏

日税政第57回定期大会

日税政は9月28日、オークラ東京（港区）において第57回定期大会を開催し、令和5年度の運動方針、組織活動方針、規約の変更や役員の改選など8議案を可決承認した（大会関連記事は6～10面掲載）。

定期大会は、代議員200人中185人（うち委任状出席21人）が出席し、定刻の午後1時に開会した。

冒頭、国歌斉唱、物故会員に対する黙祷を行った後、太田直樹会長のあいさつに続き、議長団の選出が行われ、名倉明彦、青木正の両副会長が正副議長となり議事を開始した。

大会では、吉川幹事長をはじめ執行部から、令和4年度の運動経過と組織活動報告、令和5年度の予算など8議案についての説明が行われた。これに対し、活発な質疑があった（質疑応答の内容については8面掲載）。

この大会では、任期満了に伴う役員改選が行われた。南九州税理士会の東秀優（ひがしひでまさ）氏を会長とする他、副会長15人、総務3人と会計監事3人を推薦する提案について議場に諮ったところ、賛成多数により承認された。

議事終了後、決定した7つの大会決議文の朗読の他、東新会長の就任あいさつがあり定期大会は終了した。

なお、定期大会には来賓として、宮沢洋一自民党税理士制度改革推進議員連盟会長、北側一雄公明党・日本税理士会連合会との政策懇話会会長、海江田万里立憲民主党税理士制度推進議員連盟会長、古川元久国民民主党税理士制度推進議員連盟会長が出席した。

引き続き行われた懇親会には、来賓国会議員152人が出席するなど盛会に行われ、各税政連においては出席議員と懇親を深めた。

東会長が岸田首相を表敬訪問

10月６日、日税政から東秀優会長、吉川裕一幹事長、中国税政連から井上博夫会長、山中庸祐幹事長、税理士による岸田文雄後援会山中伸介会長が首相官邸（千代田区）において岸田文雄首相（自民・広島１区）を表敬訪問した＝写真。

当日は日税連の太田直樹会長も同行した。

８議案を承認した第57回定期大会

主な内容

地方短信・各単位税政連が定期大会を開催　4～5面
特集・定期大会出席会員の感想や意見　6面
特集・定期大会各党代表議員のあいさつ　7面
特集・定期大会質疑応答要旨、定期大会出席議員一覧　8～9面

9税政連 会長決まる

本年は役員改選の年に当たり、このほど東京、近畿、北海道、東北、東海、北陸、中国及び四国の定期大会並びに会長退任に伴う名古屋の臨時大会で新会長が選任された。新会長の氏名は次のとおり。

名倉明彦（東京＝再）、那須弘敬（近畿＝新）、名越隆雄（北海道＝再）、工藤重信（東北＝新）、平昌彦（名古屋＝新）田中克明（東海＝再）、森陰輝夫（北陸＝再）、井上博夫（中国＝新）、橋本孝志（四国＝新）

名倉明彦氏

那須弘敬氏

名越隆雄氏

工藤重信氏

平昌彦氏

田中克明氏

森陰輝夫氏

井上博夫氏

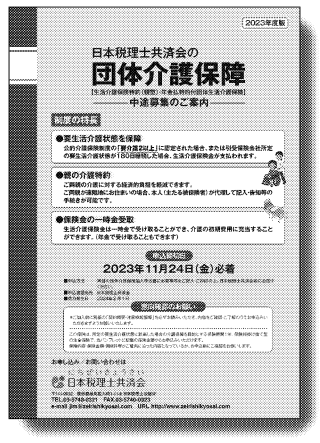
橋本孝志氏

針葉樹

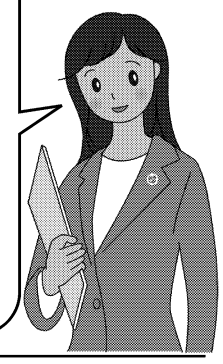
インボイス制度が実施され、現場では証憑確認や財務の入力確認など業務負担が増えているのではないだろうか。インボイス対応で大変だと感じているが、改正電帳法の対応も忘れてはならない。皆さんの事務所は大丈夫ですか▼9月以降、コロナ感染者が増加している。少々油断していたのか、不覚にも2度目の感染となってしまった。ただ、症状が軽かったのは救われた。きっと、神様がちょっとお休みしなさいと言ってくれたのだと都合良く考えている▼今年もあと2カ月だが、あっという間だったと感じる。年齢を重ねるたびに時間が早く過ぎていく。時間は大切に使いたいものだ▼体力の低下も侮れない。今まで当たり前にできた事が、そうでなくなった時のショックは大きい。今、自分への再投資として下半身強化を実施している。運動し始めは苦痛だが、メニューを消化してたっぷり汗を流すことを「日々是決戦」と称して自己研鑽し続けている▼将来、憂いなき日々を過ごせる事を目標とし、税理士としても学びを怠らないようにして前進し続けたい。（佐藤）

40・50代の方必見!!　にちぜいきょうさい 日本税理士共済会 の団体介護保障　申込受付中！

ご加入いただける方
＜税理士本人・配偶者＞
新規加入 70 才まで。更新 80 才まで。
＜本人・配偶者の実父母＞
新規加入、更新ともに 85 才まで。
パンフレットで負担金の安さをご確認下さい！



50代の方の加入が増えています。
月々1,000円以下の負担で
「ある日突然」に備えましょう。
※要介護２以上で介護保険金が支払われます。
申込締切日：11月24日（金）



モバイルサイトはこちら
にちぜいきょうさい 日本税理士共済会
〒141-0032 東京都品川区大崎１丁目11番８号 日本税理士会館5F
TEL 03－5740－0321　http://www.zeirishikyosai.com
日本税理士共済会は、公益財団法人日本税務研究センターが運営する「日税研通信ゼミ」を支援しています。

日税政の更なる発展に尽力を

東新会長あいさつ要旨

抱負を語る東秀優新会長

まずは来賓の議連会長の先生方、出席を賜りまして厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

新役員を代表して一言ごあいさつを申し上げます。会長に選任されました南九州税理士会所属の東秀優と申します。

私にとってこの会長職は少し身の丈を超えるものでありまして、大変な重責を感じておりますが、日税連及び日税政の皆様と共に納税者のために、また魅力ある税理士制度のために鋭意努力していく所存でございます。

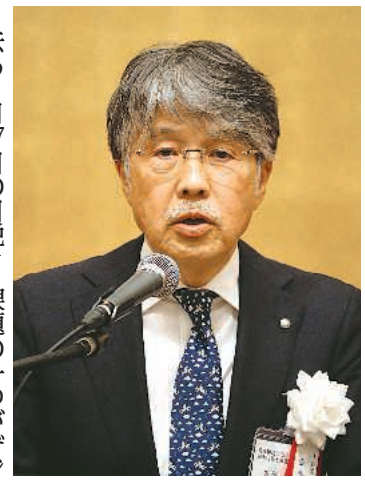
本会が要望する税制改正、そして税理士法改正の実現のために執行部一丸となって尽力したいと思います。

具体的には国会議員の先生方に陳情すること、またその先生方の選挙支援をすること、単位税政連との連携、更なる組織強化、そして会員拡大、また全国津々浦々の後援会の強化が課題だと思っております。微力ながら鋭意努力いたしますが、皆様のご協力なくしては実現できません。よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様の今後益々のご健勝ご発展を祈念いたしまして、私の会長就任のあいさつといたします。

日税政と連携、税制改正要望実現を

太田日税連会長あいさつ要旨


あいさつする太田会長

去る7月27日の日税連の定期総会におきまして、第17代の日本税理士会連合会の会長に就任をいたしました太田でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

日税連にはさまざまな課題があります。その中から幾つかをご紹介をさせていただきまして、ごあいさつとさせていただきます。

まず日税連では日税政との協力によって令和4年に税理士法改正が実現をいたしました。

課題の一つがデジタル化への対応であります。1人でも多くの会員がデジタル化に対応できるような環境整備が求められております。日税連ではデジタル相談室でいろいろな課題に対応できるように準備を整えているところであります。

また多様な人材の確保では受験資格制度の見直しが行われました。今年から税理士試験におきまして新しい制度が導入されまして、簿記論、財務諸表論の受験者が2割強増えたということで大変嬉しく思っております。

そして税制改正の対応におきましては、ご承知の通り令和5年度に幾つかの税制改正が実現をしたところであります。引き続き日税政と連携を取りながら、一つでも多くの税制改正要望の実現に向けて対応していく所存であります。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びにあたりまして、会員の皆さまの一層のご理解とご協力をいただき、日本税理士政治連盟が益々発展をすることをご祈念申し上げまして、私のごあいさつに代えさせていただきます。

第3回正副会長会・第3回幹事会開催

新執行部スタート

第3回幹事会

日税政は10月4日、第3回正副会長会（東秀優会長）を、10月16日、第3回幹事会（吉川裕一幹事長）をいずれも日本税理士会館（品川区）において開催した。

正副会長会では、定期大会で承認された東会長をはじめ、副会長15人、総務3人、会計監事3人の選任を確認した。

幹事長には引き続き吉川裕一氏（東京）とすることが承認されたほか、秋山典久氏（関東信越）をはじめ8人の副幹事長を承認した。

また、順位副会長に名倉明彦副会長、田中克明副会長、小林俊一副会長が指名された他、名誉会長・顧問・相談役の委嘱が承認された。

幹事会では各委員会の委員を決定した。これにより、役員改選による新しい執行部の体制が整った。

（新役員・委員名簿は11面）

第2回正副幹事長会・第2回幹事会を開催

日税政は9月28日、オークラ東京（港区）において第2回正副幹事長会及び第2回幹事会（吉川裕一幹事長）を開催した。

会議では、主に定期大会での役割分担などを確認した。

その他の議題では10月24日に実施する国会議員への一斉陳情の、実施要領について確認を行った。

南十字星

70歳からの登山

四国会　木村幸弘

立山、燕岳（つばくろだけ）、木曽駒ヶ岳、焼岳。若い頃からの登山歴ではない。70過ぎからの登山である。登山に誘うと皆口をそろえて体力が、脚力が、とご辞退なさる。

私とて体力は同じ。日頃の準備はない。これまで登山歴はない。しかし、登ってみれば登れる。20分、30分毎に休みながら無理をせずゆっくりと、後から来る人には道を譲りながら山頂をめざす。

山頂からは視界が広がる爽快感。ふくらはぎに感じる疲労感。そして登り切った達成感。あらゆる快感が待っている。

翌日には足が痛いが、自力で歩けるし数日で治る。意外に体力のある自分に驚いけない。体力、知識、行動力は発揮するもの、温存してはいけない。

もっと頑張れ70歳、そして、頑張れ日本！

それは日本人にも日本国にも言えること。体力に余力があるのに、立ちすくんではいけない。自分を過小評価してはいけない。力を温存してはいけない。控え目はいけない。

地方短信

税理士による岸のぶちよ後援会が設立総会

中国税理士政治連盟

8月19日、岩国国際観光ホテル（岩国市）において「税理士による岸のぶちよ後援会」（自民・山口2区）の設立総会が開催された＝写真。

当日は来賓として重近實中税政会長、藤中秀幸山口県連会長が出席し、発起人代表が議事運営を務め、提出された後援会規約と執行役員が原案どおり承認された。

後援会長となった柳井卓正会員からは「岸議員は将来が嘱望される国会議員である。是非、後援会の活動に積極的に参加し、支援いただきたい」とあいさつがあった。

次いで岸議員から、「半年前の補欠選挙では皆様のご支援があって当選でき、目下1年生議員としてさまざまな勉強をさせていただいている。駆け出しではあるが国政に携わる立場となったことで、日本の根幹を支える税の重要性を改めて認識している。これから皆様からさまざまな知識とご助言をいただいて、精進してまいります」と強い意思表明があった。

数十年後には我が国のトップとなる人物を目指して積極的に支援していきたい。

税理士事務所と関与先を守る安心の補償

税理士職業賠償責任保険
加入のおすすめ

この保険（主契約）は、税理士の過失がなければ納付を免れることができた「多く払い過ぎた本税」「還付が受けられなかった本税」を主に対象としています。

（例）うっかりミスなど
・税法上の選択誤りや届出失念
・優遇措置の適用失念
・一般に修正が認められるケースでの更正請求の期限徒過

さらに、「事前税務相談業務担保特約」をオプションで追加すれば、主契約における税理士業務以外でのアドバイス誤りにより過大納付税額（還付不能税額を含む）が発生した場合も対象となります。

（例）・合併に際しての助言誤りで繰越欠損金の期限切れが生じた
・法人設立時の資本金に関する助言誤りで免税期間が短縮された

依頼者に損害を与えた場合に、賠償が可能であることが職業専門家としての要件とも言われています。
専門家責任を果たすための一つの手段として、加入をおすすめしています。

保険契約者（団体契約）日本税理士会連合会

お問合せ先 (株)日税連保険サービス
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-8 日本税理士会館 5 階
電話 0120-320-912　FAX 03-5435-0907
ホームページ ぜいばいほけん 検索
www.zeirishi-hoken.co.jp

地方短信

支部長・後援会長連絡会議など開催

名古屋税理士政治連盟

名古屋税理士政治連盟（菱田裕之会長）は8月2日、名古屋税理士会ビル（名古屋市）において「支部長・後援会長連絡会議」を開催した。

菱田会長のあいさつの後、小島善弘幹事長が議長となり、支部及び後援会への交付金及び負担金などの報告をした後、秋山典久日税政策委員長から日税政の活動及び現状などについて説明をいただいた。

同日、連絡会議終了後に「推薦国会議員等政策担当秘書との勉強会」をホテルルブラ王山（名古屋市）において開催した。

勉強会では、倉地茂雄政策委員長から「令和6年度の税制改正に関する要望書」について説明があり、名税政の取り組みなどについて推薦国会議員等政策担当秘書へ理解と協力を要請した。

その後、懇親会を開催し、秘書との懇親を深め和やかなうちに終了した。

ホテルで開催された勉強会の模様

地方短信

後援会連絡会議を開催

中国税理士政治連盟

中国税理士政治連盟（井上博夫会長）は9月16日、ホテルグランヴィア岡山（岡山市）において「後援会連絡会議」を開催した＝写真。

当日は講師として、吉川裕一日税政幹事長を迎え、令和6年度税制改正要望のポイント及び選挙時の後援会活動についての講演があった。

吉川幹事長からは後援会活動について「税理士法に定める建議権に基づき日税連が作成した建議項目の実現を目指すために、政治家に働きかけることが我々に課せられた活動。そのためには立法府の最前線にいる国会議員に最も近い税理士による後援会の活動の活発化が重要である」との説明があった。

続いて、本年6月にとりまとめられた今回の改正要望のうち、とりわけ重要建議・要望3項目を中心に議員への説明があり「改正要望の立法化には8月末までに各省庁等から次年度予算の概算要求と共に提出される税制改正要望の中に、税理士会の要望事項が盛り込まれていなければ実現は難しい、税制に理解のある国会議員に対する早期のアクション、陳情活動が重要である」との説明があった。

インボイス制度がスタート
もっと説明を…

潮流

税制改正要望と後援会活動

去る9月28日、日税政の第57回定期大会がオークラ東京で開催され、活発な質疑応答の後、太田直樹会長の退任と東秀優新会長の就任が報告された。

引き続き行われた議員を交えた懇親会はコロナ明けでもあり152名の議員が参加し、各議員は短い持ち時間の中、精一杯精力的に壇上であいさつをした。会場に到着した議員はまず地元の単位税政連のテーブルで後援会長や顔なじみの役員と歓談し、リラックスした後、壇上で熱気あふれるあいさつをした。内閣改造直後でもあり新閣僚に指名された議員の姿は誇らしげに見えた。

令和6年度税制改正の建議・要望は既に議員に渡され陳情も受け、中には勉強会を開いて熱心に要望の内容を検討している議員もいる。後援会のある議員は言うに及ばず各議員は、日税政が日税連の建議要望を実現するために活動し、その要望は我々税理士だけでなく顧客である中小企業や小規模事業者等の要望であることは理解している。

政治連盟活動の根幹をなすのは後援会活動である。本年9月末時点で全国に332の後援会が設立されている。しかし、コロナの影響もあり原則年1回開催するべき定期総会の開催割合が令和2年度36・6％、令和3年度41・1％、令和4年度38・1％とコロナ前の令和元年度以前が50％超に比し激減している。総会は後援会の会員と議員が顔を合わせ意見交換し懇親を深める絶好の機会である。

後援会の役員のみならず若手や新入会員が議員と懇談する機会でもあるので、本年度に未開催の後援会については至急計画し、必ず議員を交えた総会を開催していただきたい。

これから税制改正の議論が活発に行われるが、議員にとって一番ありがたいのが自分を応援してくれる後援会である。この点を踏まえ後援会活動の原点に立ち返り、議員の信頼を維持し、会員の増強と活動の活性化を図りギブアンドテイクの関係で活動していくことを期待する。（河合）

メールマガジン「日本税政連ニュース」配信希望者募集

日本税理士政治連盟では、税制改正陳情の様子や、議員との懇談会などをメールマガジン「日本税政連ニュース」として配信しています。配信希望の方は、日本税理士政治連盟ホームページの専用フォームより必要事項を入力の上、配信登録を行ってください。

配信日は不定期です。活動内容を随時配信しています。

メールマガジンのバックナンバーは日本税理士政治連盟ホームページで閲覧可能です。

機関紙「日本税政連」のバックナンバーも閲覧可能です。

登録画面へ

メールマガジンのバックナンバーへ

機関紙のバックナンバーへ

退職金対策、考えていますか?!

ぜいたいきょうは、1983年（昭和58年）の設立以来、税理士事務所職員・関与先事業所従業員のための特定退職年金共済制度運営を通じて、皆様の繁栄を応援しています。

安心できる退職金制度は？
関与先にも紹介したい・・・

退職金のことなら
ぜいたいきょう
にお任せください！

会員急増中！

えっ？複利で2%!?

税理士事務所職員・関与先事業所従業員のための
ぜいたいきょうの「特定退職年金共済制度」は・・・

✓満65歳未満までOK!
✓関与先の皆様もご契約できます
✓複利はなんと2%!!!
✓掛金は全額必要経費、または損金に計上
✓月額3,000円から確かな保証!
✓充実した福祉事業制度（結婚祝金・出産祝金・死亡弔慰金をご用意）

より分かりやすくリニューアル！
制度の詳細はホームページをご覧ください　ぜいたいきょう　検索

一般社団法人 ぜいたいきょう 税退共
（旧 社団法人 税理士事務所職員退職年金共済会）
〒330-0846　さいたま市大宮区大門町2-88 大野ビル6階
Tel.048(645)8720　Fax.048(645)9261　https://www.zeitaikyo.com

※東京税理士会の会員の皆様は、一般財団法人東京税理士事務所職員退職金共済会へご加入ください。

単位税政連 定期大会開催

地方短信

懇親会を4年ぶりに

北海道税理士政治連盟

北海道税理士政治連盟（名越隆雄会長）は、9月1日、センチュリーロイヤルホテル（札幌市）において、第57回定期大会を開催した＝写真。

平野重善副幹事長の司会で開会。続いて、木村聡副会長の開会あいさつが行われた。

その後、名越会長が「昨年7月の第26回参議院通常選挙における推薦候補者3人全員の当選、本年4月の統一地方選における本連盟推薦の北海道知事の圧勝、各地区会推薦候補者の多数の当選は、日頃の地区会の役員・会員の政治活動の賜物である」とあいさつし、役員・代議員への感謝を述べた。

次いで須藤寿北海道税理士会会長より祝辞をいただいた後、谷幹夫幹事長より大会成立の報告があり、議事録署名人の指名の後、議事に入った。

令和4年度運動経過報告・収支決算、令和5年度の運動方針・収支予算案、規約の一部改正など上程された6議案はすべて賛成多数で可決承認された。

議事終了後、役員の退任・就任の紹介が行われ、新役員を代表して再任の名越会長よりあいさつが行われた。

そして、来賓の小林俊一日税政副会長より祝辞を頂き、代議員による決議文の朗読の後、西田孝雄副会長の閉会の辞をもって大会は終了した。

引き続き、4年ぶりに国会議員を招いて懇親会を開催し、北海道選出の15人の国会議員と8人の代理が参加し、国会議員からそれぞれスピーチを頂くなど、終始和やかに行われ、最後に堀井修一副会長の閉会のあいさつをもって終了した。

地方短信

全7議案を可決承認

近畿税理士政治連盟

近畿税理士政治連盟（久保直己会長）は、9月8日、帝国ホテル大阪（大阪市）において、太田直樹日税連・日税政会長、石原健次近畿税理士会会長、菱田裕之名古屋税政連会長を来賓に迎えて、第57回定期大会・国政報告会・懇親会を開催した＝写真。

本年は4年ぶりに代議員数に制限を定めず、懇親会も開催するなど、コロナ禍前と同様の規模での開催となった。

議案審議では、上程された役員改選を含む7議案はいずれも賛成多数で原案通り可決承認された。役員改選の結果、那須弘敬会長、長谷川隆史幹事長が選任された。

審議終了後、先ほど承認された大会決議文が指名された7名の代議員により声高らかに朗読され、太田会長、石原会長、菱田会長より来賓祝辞を賜った後、新たに会長に選任された那須新会長より「20年ぶりに税理士会の現職正副会長が税政連の会長に就任した。今後は、近畿税理士会と近畿税政連は『車の両輪』としてより一層連携して税政連の組織強化に全力で取り組んでいく」との会長就任のあいさつがあった。

最後に役員表彰、会費収納率の向上に貢献のあった支部・支部連の表彰が行われ、定期大会は終了した。

その後、恒例の推薦議員による国政報告会及び懇親会が開催され、18人の現職国会議員と4人の前国会議員が出席した。懇親会では首長・地方議会議員なども出席した。

本年も昨年同様、SPの警護対象議員が出席したため、当日は金属探知機による身体検査、SPの警護体制など、物々しい雰囲気の中での開催となった。

地方短信

50年目の節目に

東北税理士政治連盟

東北税理士政治連盟（青木正会長）は、9月4日、仙台国際ホテル（仙台市）において、第50回定期大会を開催した＝写真。

冒頭、青木会長より「東北税理士会が提案した所得税法の災害損失の適用期間の延長が実に4年越しに実現し、現行3年から5年に延長されることになり、令和5年度税制改正大綱に記載された。本連盟として、東北税理士会及び各県税政連並びに各後援会と一丸となって陳情活動に取り組んだ結果が大きな力となっており、今後も後援会活動をより活発化させて国会議員等と良好な関係を構築していただきたい。令和6年度の税制改正は、10月から導入されるインボイスへの対応、免税事業者からの課税仕入れの8割控除を恒久的に維持するよう、陳情していきたいと考えている。東北税理士会の方針に沿い、東北税理士会の意見書に基づく税制改正案を関係国会議員に陳情し、その実現の役割を担うのが税政連である。税政連の活動なくして税制改正は実現しない」とのあいさつがあった。

続いて審議に移り、役員の任期満了に伴う改選の件を含めた第1号議案から第7号議案までいずれも満場一致で原案通り可決承認された。

その後、新会長に選任された工藤重信会長からの新役員代表あいさつ、名越隆雄日税政副会長、髙澤圭一東北税理士会会長より来賓祝辞があり、定期大会は無事終了した。

本連盟は、50年の節目を迎えるにあたり、定期大会前に大島理森前衆議院議長を招き、記念講演会を開催し多くの会員が出席した。

地方短信

議員と勉強会積極的に

東海税理士政治連盟

東海税理士政治連盟（田中克明会長）は、9月9日、ホテルグリーンパーク津（津市）において、第49回定期大会を開催した＝写真。

冒頭、田中会長より「今年ようやく国会議員の先生を交えての県別集会が可能となった。税理士は税務に関する専門家として、常に納税者と接しており、税務に関する意見を直接聞く立場にある。税理士が建議をしていくのは、我々の使命である。そのためにも国会議員への陳情だけではなく、税制の基本からの勉強会を国会議員と共に行って、税制改正に関する要望を行うことが、要望実現に繋がる」とのあいさつがあった。

その後、令和4年度運動経過報告、収支決算報告の承認、令和5年度の運動方針が決議され、提案された議題すべてが賛成多数により可決承認された。

議事の後に来賓の太田直樹日税連・日税政会長、菱田裕之名古屋税政連会長の祝辞、祝電披露と続き、予定通り大会を終了した。

地方短信

地道な陳情活動の継続を

北陸税理士政治連盟

北陸税理士政治連盟（森陰輝夫会長）は、9月15日、ホテル金沢（金沢市）において、第54回定期大会を開催した＝写真。

冒頭、高木悦子副会長の開会の辞に続いて、久保直己日税政副会長から会長祝辞の代読をいただいた。

その後、議長に選任された木村光雄会員により議案審議が進められ、令和4年度運動経過報告及び令和5年度運動方針など提案された6議案すべてが賛成多数で可決承認された。

国会議員の入場後、第5号議案において再任された森陰輝夫会長は「税理士会の掲げる税制建議の実現には政治の力が不可欠である。税政連に与えられた役割を全うするため、引き続き地道な陳情活動を行っていく」と決意を述べた。

続いて瀬戸順一北陸税理士会会長及び来賓国会議員より祝辞をいただき、能登宏和副会長によるガンバロウ三唱が行われ、河合孝彦副会長の閉会あいさつにより大会は盛会のうちに終了した。

地方短信

4年間の協力に感謝

中国税理士政治連盟

中国税理士政治連盟（重近實会長）は、9月16日、ホテルグランヴィア岡山（岡山市）において、第55回定期大会を開催した＝写真。

新型コロナウイルスの不活性化に伴い昨年から集合形式を再開し、重近会長の任期満了にふさわしく地元の岡山での開催となり、代議員、役員の他、多数の地元支部会員が来場した。

開会に当たり、重近会長から4年間無我夢中で走り抜け、さまざまな施策と数回の国政選挙を経験し、その都度多くの方々に温かい支援と協力をいただいたことへの感謝のことばが述べられた。

議案審議に移り、細木貞彦副会長が議長に、藤中秀幸・伊藤博文両副会長が副議長に選任され、7つの議案について担当役員が説明を行い、本大会に上程された議案はすべて可決承認された。

なお、第6号議案で上程された役員の任期満了に伴う改選の件では、井上博夫新会長以下副会長、総務、会計監事の4職が就任し、新体制がスタートした。

続いて、本大会に招待した9人の来賓が入場、逢沢一郎衆院議員（自民・岡山1区）をはじめ4人の国会議員と2人の地元首長から祝辞をいただき、中尾修治郎副会長による閉会の辞をもって滞りなく大会は終了した。

懇親会では、国会議員の他、伊吹文明元衆院議長にも臨席いただき、太田直樹日税連・日税政会長からの祝辞の後、田中一宏中国会会長の乾杯で開宴した。

懇談中には新副会長と新幹事長の紹介を設け、今後の新執行部の活躍を願い和やかな中で終了した。

地方短信

全7議案を可決承認

東京税理士政治連盟

東京税理士政治連盟（名倉明彦会長）は、9月20日、京王プラザホテル（新宿区）において、第57回定期大会を開催した＝写真。

今年は新型コロナウイルスが第5類に移行されたことに伴い、4年ぶりに研修会、定期大会、懇親会のすべてがコロナ禍以前と同様に開催された。

研修会では、前デジタル大臣の牧島かれん衆院議員（自民・神奈川17区）を講師に招き「日本はデジタル先進国になれるのか？」をテーマに講演があった。

また、定期大会では、例年審議される本年度の収支予算、運動方針、組織活動方針などに加え、役員の改選が審議され全7議案が可決承認された。

この中で令和5年度運動方針では、本年10月よりインボイス制度が開始されることに伴う様々な混乱や問題をしっかりと確認し、軽減税率制度を廃止し単一税率に戻すなどの運動を引き続き行うこととしている。

名倉会長はあいさつで「令和6年度税制改正に向けて、消費税の軽減税率制度の廃止、役員給与税制の見直し、基礎的人的控除の見直しなど本連盟の要望をしっかりと議員に訴えていきたい」と述べた。

地方短信

全6議案を可決承認

四国税理士政治連盟

四国税理士政治連盟（清藤智彦会長）は、9月22日、ANAクラウンプラザホテル松山（松山市）において、第54回定期大会を開催した＝写真。

大会は大伴直人副幹事長の司会により開会され、竹村俊一副会長による開会宣言の後、国歌斉唱を行った。

来賓として、青木正日税政副会長、浜崎友二四国税理士会会長、秋山嘉之四国税理士協同組合理事長をお迎えした。

冒頭、清藤会長よりあいさつがあり「新型コロナウイルス感染症の分類が2類から5類に変更となったことにより通常の活動ができるようになった。陳情に時間的な制約がなくなり、充分に陳情活動を行っていけるようになってきた。四国税理士政治連盟においては令和5年10月に徳島・高知選挙区の参議院議員補欠選挙が行われる予定となっており、推薦者については徳島県、高知県で調整を行っていく予定である。また、令和5年10月からインボイス制度が開始される。現時点においては様々な問題はあるが、制度のスムーズな運用に努めていくことが必要である。ただし当面3年間の負担軽減措置については、この軽減措置が十分なものであるか、また3年後に軽減措置が廃止されていいものなのかなどを見極め、さらなる負担軽減措置が必要であれば要望を行っていく必要がある」と述べた。

議案審議では竹村俊一副会長が議長に選出され、上程された全6議案が原案どおり承認された。また、審議終了後、承認された決議文の朗読が行われた。

その後、青木副会長からの祝辞、祝電披露の後、新会長に選任された橋本孝志会長より就任のあいさつがあり、島津諭相談役による万歳三唱、西木敏明副会長による閉会の辞をもって、定期大会は滞りなく終了した。

地方短信

伊藤たかえ後援会が設立総会

名古屋税理士政治連盟

9月1日、名古屋ガーデンパレスホテル（名古屋市）において「税理士による伊藤たかえ後援会」（国民・愛知選挙区）の設立総会が開催された＝写真。

当日は来賓として、菱田裕之名古屋税政連会長、田中克明東海税政連会長、小川令持日税政元会長、尾崎秀明名古屋税理士会会長、片山泰宏東海税理士会会長らが出席、総勢80人の参加により開催された。

総会は武山卓史会員の司会のもと、加賀元浩会員から開会のあいさつがあり、渥美雅裕会員を議長に選任、議事録署名人を指名し議事に入った。慎重なる審議のうえ、すべての議案が可決承認された。

会長に選出された平昌彦会長のあいさつのち、菱田会長、田中会長の祝辞を受け、伊藤孝恵議員から後援会設立への謝辞と力強い抱負が述べられた。水野博信副会長の閉会のあいさつにより約1時間の設立総会が閉会した。

引き続き、同会場にて懇親会が催され、伊藤孝恵議員と会員の親睦が図られた。

選んでよかった！ JDL

JDLのAI-OCRで業務改善

「JDL AI®」が会計事務所の“三大入力負荷”を大幅に削減！

――仕訳入力、年末調整、確定申告。会計事務所の“三大入力負荷”をJDL AIが大幅に削減。
繁忙期だけでなく年間を通じた業務改善で、会計事務所が大きく変わります。

AI-OCR 仕訳入力システム™　AI-OCR 年末調整入力システム™　AI-OCR 確定申告入力システム™

お仲間の税理士に、ぜひJDL AIの評判をお聞きください！

JDL AI®

事務所にいながら30分でよく分かる！ もちろん無料！
JDLの「AI-OCR」をWebデモンストレーションで体感！
お申込みはこちら　JDL AI　検索

JDL Japan Digital Laboratory
株式会社 日本デジタル研究所
本社／〒136-8640 東京都江東区新砂1-2-3　☎03(5606)3111(大代表)
JDLホームページアドレス　https://www.jdl.co.jp/

①東京税政連

②東京地方税政連

③千葉県税政連

④関東信越税政連

⑤近畿税政連

⑥北海道税政連

⑦東北税政連

⑧名古屋税政連

⑨東海税政連

⑩北陸税政連

⑪中国税政連

⑫四国税政連

⑬九州北部税政連

⑭南九州税政連

⑮沖縄税政連

第57回定期大会

出席会員の感想や意見

日税政の第57回定期大会及び懇親会には、全国から代議員の185人の出席に加え、単位税政連役員、税理士による国会議員等後援会会長らが多数出席した。広報委員会は出席した税政連の代議員や後援会役員に対し、大会の感想や税政連の活動への率直な意見を聞いた。

①東京税政連　菅原　祥元会員

日税政の定期大会に参加して、懇親会における国会議員の出席者数の多さに驚きます。全国津々浦々の税理士会員を擁する日税政の政治力に改めて圧倒されます。この力で税理士会の要望実現に期待します。

②東京地方税政連　辻　泰二郎会員

代議員として日税政の定期大会に出席しました。4年ぶりに代議員の数も昨年より増やしてオークラ東京にて開催された大会は、役員の改選も伴う大々的なもので、全国からの代議員の活発な議論が印象的でした。太田前会長は先の日税連の総会で会長に就任され、東新会長と共に日税政の諸施策実現に向けて、私たちを牽引されることと大いに期待しております。

懇親会は東京地方会各後援会役員も交えて、国会議員の方々とさまざまな課題について和やかに意見交換が出来ました。他の単位会のテーブルもそれぞれ多くの議員各位と活発に懇談されていたようで、国会陳情とは違う雰囲気の中での貴重な機会であると感じました。

③千葉県税政連　増嶋　英昭会員

インボイス制度導入に対する中小企業者の実務を踏まえて負担軽減措置が令和5年税制改正大綱等にとり上げられたが、まだ多くの課題があると思われる。問題点を取り纏めて、国会議員等に陳情を行い要望事項が一つでも多く実現することによって税政連の組織率も上がってくると思う。また支出の見直しに取り組んでいくことも重要である。

④関東信越税政連　横田　尚久会員

日税政定期大会に初めて出席した。質疑応答では多岐にわたる質問があり、事前に質問内容を受付けた訳でもなく、なのに的確に回答した役員の方々の意識の高さに驚愕した。そして税制改正要望実現には税政連の活動による国会議員との繋がりが必須であると改めて実感することができた。太田前会長が日税連会長に就任したこともあり、東新会長のもと税政連の更なる発展を期待する。

⑤近畿税政連　木原　義和会員

昨年に引き続き出席させていただきましたが、非常に立派な定期大会・懇親会でした。全国から参集された大会代議員の方々、そして懇親会に駆けつけて下さった国会議員の先生方の多さに圧倒されました。大会では、他の単位会の代議員のいろいろな意見を聞けて非常に勉強になりました。

⑥北海道税政連　森下　浩会員

定期大会・懇親会は初めての参加でしたが、大変有意義でした。北海道選出の国会議員の方々が私達のテーブルまでお越しいただきました。普段の地区会や後援会の懇親会では円卓の一員としてですが、今回は一対一や少人数でたくさんお話ができました。オークラの料理も美味しく、お腹も心も満たされた懇親会でした。政治連盟の仕事も良いものですね。

⑦東北税政連　千葉　勇喜会員

初めて日税政の定期大会に参加し、2時間を越える審議が行われ、代議員として議決権の行使に重大な責務を負っていることを感じました。その後の懇親会には、多くの衆参両院の議員が訪れ、東北選出の議員と改正要望をテーマに懇親を深められたことが良い機会となりました。引き続き改正要望が一つでも多く実現するよう活動していきたいと思います。

⑧名古屋税政連　小原　香織会員

太田会長が日税政会長あいさつと日税連会長としての来賓あいさつを行うという光景を目の当たりにし「日税連の税制改正建議を日税政が実現させる」という運動を通してたくさんの改正がより進むことを願いました。

また、名古屋税政連の推薦国会議員である古川元久国民民主党議連会長がいつもの後援会勉強会でもお話しされている事を来賓あいさつでとうとうとお話しされた事が大変嬉しかったです。

国会議員と税政連との強固なつながりはとても大切だと改めて感じた1日でした。

⑨東海税政連　土屋　巧会員

日本税理士政治連盟の定期大会は滞りなく終わり、力強い大会決議で締め括られた。懇親会には多くの国会議員に参集いただいて大いに盛り上がった。コロナが終息して久しぶりのフルスペックでの大会となったが、参加議員も縛りのない懇親会で税理士会員とゆっくり話ができたと思われる。消費税のインボイス導入が目前となっていた時点ではあったが、その問題点について多く意見が交わされていた。問題点を是正するような対応を実現しなければならない。

⑩北陸税政連　能登　宏和会員

日税政の会長から日税連の会長へ転身した太田直樹氏が開会のあいさつと来賓としての祝辞を述べる、というめったに見られない定期大会となった。北陸会からも大勢出席し、懇親会も含めて大いに盛り上がった大会であった。

⑪中国税政連　岡本　倫明会員

10年ぶりの定期大会の参加となった。オリンピックで建て替わり、見違えるような綺麗でゴージャスになったオークラ東京で開催された。いくつかの質問がある中で、議案は滞りなく審議可決された。懇親会では多くの国会議員が順番にあいさつに立ち、中国地区選出の議員も多数かけつけた。

改めて後援会活動の過去の蓄積の重みを感じながら、これからもより一層の政治活動の重要性を認識して家路についた。

⑫四国税政連　金子　長彦会員

今回初めて定期大会に代議員として参加出席してきました。各単位会の税政連が一堂に会しての大会であり、その参加人数の多さに圧倒されました。大会においては様々な質疑がなされその大会の真剣さを肌で感じることができ、税理士会にとっての政治活動の重要性を初めて理解することができました。懇親会においてはテレビでしか拝見したことのない有名議員の先生を直接拝見することができ有意義な一日を過ごすことができました。

⑬九州北部税政連　中村　伸一会員

私にとって初めての参加となる第57回定期大会は、昨年に続きオークラ東京にて行われた。会場の規模や荘厳さ、参加会員の熱気に当初けおされたが、役目である「決議文朗読」を終えた頃にはすっかりおおらかな意見交換や議論を楽しむ事が出来た。懇親会では多くの地元選出議員にお越し頂き、インボイス直前の良いタイミングで闊達な意見交換が出来、また各議員の熱気あふれるスピーチと非常に有意義な一日となった。

自らの役割を今後の任期中しっかりと果たしていきたい。

⑭南九州税政連　平本　和則会員

代議員として定期大会へ初めて参加させていただきました。今回の定期大会において役員改選が行われ、当連盟から東秀優相談役が日税政会長として選出されました。大会での質疑応答等の中でも出てきたように、当連盟においても会員増強が喫緊の課題となっています。東会長を盛り立てていくためにも地元での会員増強に取り組まなければと改めて感じました。

⑮沖縄税政連　清川　美智子会員

初めて代議員として定期大会に参加させていただきました。さすがオークラ東京、会場の広さと天井の高さ、そして見たことのない大きな金屏風にただただ圧倒されました。定期大会の活発な質疑応答や懇親会の名だたる国会議員のご参加など、政治連盟が持つ国を動かす力の大きさを感じるばかりでした。

第57回定期大会　各党あいさつ

自由民主党税理士制度改革推進議員連盟会長　宮沢　洋一　議員

10月1日からインボイス制度が導入されるということで、皆様のお力添えをこれまでもいただいてきております。税理士会は軽減税率にあまり賛成ではないい、インボイスもあまり賛成ではないということでございましたが、最終的には本当にお力添えをいただきました。昨年の税制改正ではいろいろな助言をいただいて、そしてそれをかなり取り込ませていただきました。10月1日の制度の開始を目指して活動をしてまいりました、皆様のお力添えにこの場を借りて感謝申し上げます。

国税庁も、この制度を作り上げた当時の主税局長の住澤さんが国税庁長官ということで、大事な任務は、このインボイスの円滑な導入ということを常に言っておりまして、しっかりやってもらえると思っております。昨年も皆様の前で申し上げましたが、始めてみて気がつくことも多々出てくるだろうと思っております。そしてそういうものに対しては法律改正も含めて迅速に柔軟に対応していきたいと思っておりますので、問題点があれば、すぐに言っていただければと思います。

今回体制が一新されたということ、税理士会の神津会長が退任されて、太田さんが会長になられる。そして税政連のほうは東さんが会長になられるということをお聞きいたしました。神津会長は実は私の一つ年上の従兄弟の大親友でございまして、まさに私と同世代人で、同世代人が去っていくということは何となく寂しいなという気持ちで、そのニュースを聞いたわけであります。

名誉会長ということで、まだまだお元気なようでございます。これから神津会長を含めて、太田会長、東会長としっかり二人三脚を組んで、皆さんと力を合せて日本の税の今後の安定のために頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。本日はまことにおめでとうございました。

公明党・日本税理士会連合会との政策懇話会会長　北側　一雄　議員

宮沢先生からインボイス制度の話がございました。現場で税理士の先生方にご協力をいただいていることに感謝申し上げたいと思いますが。現場での相談や、さまざまな特例措置もありますが、その周知等々本当にご苦労をいただいております。課題につきましては、ぜひまたお聞かせいただいて、改正すべきはしっかり改正する、運用の改善をすべきはしっかり運用の改善をしていくという対応を取らせていただきたいと思っております。

先日、岸田総理から次の経済対策についての指示が出ました。いま物価高のなかで家計が大変な状況にあるわけでございますが、一方で中小企業をめぐる環境も本当に厳しいものがあるということを感じております。物価高、原材料高、なかなか価格転嫁が進まない。

一方で人件費、今年の春闘では、中小企業の皆さんも本当に頑張っていただいて、平均で3%以上の賃上げをしていただいております。ただ、これは大企業と違って、人手不足のなかで賃上げをしていかないと人が集まらないと、こういう要素も私は多々あると思っております。人件費のコストも増えている。これもなかなか価格転嫁できない。収益が圧迫をされる。そのなかで賃上げをしていけという話があっても、なかなかそれはできないというお声をたくさん聞いております。

しかしながら、日本国民の7割がこの中小企業で働いているわけでございまして、ここの賃上げが進んでこないと、経済の循環的な成長というのはなかなか望めないというのも事実でございます。ですから今回の経済対策の大きな柱は、やはり中小企業の皆様が賃上げできるような環境をどう作っていくのか、これが最大のポイントだと思っております。予算措置、税制措置、更には金融面、総合的な政策を打ち出して、中小企業を応援できるような経済対策をしっかり実行してまいりたいと思っております。

税の点で1点だけ申し上げたいと思います。これまで賃上げ促進税制というのをやってまいりました。これを更に拡充しなければならないと思います。これからは赤字法人であれ、また収益が少ない企業であれ、賃上げをやった場合にこの減税が翌年にも繰り越すことができる、そのような税制をぜひ年末には実現をさせていただきたいと思っているところでございます。

現場の中小企業の皆様に本当に寄り添われて、現場の声をしっかり届けていただいて、中小企業がしっかり仕事ができる、稼げる、そうした政策を実行してまいりますので、どうか今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。

立憲民主党税理士制度推進議員連盟会長　海江田万里　議員

神津日税連前会長、本当にお疲れさまでございました。ほとんど同期で、そして事務所も近くでございますから、先ほど宮沢会長から同じ世代として寂しくなるということでございますが、私もかなり寂しく感じております。

それから太田会長、本当にお疲れさまでした。とくに昨年、税理士法の改正、国会での審議は非常にスムーズだったと私は思っております。水面下で太田会長が努力をされて、これからの新しい税理士制度についての基本的な法律ができあがったということではないだろうかと思っております。

インボイスのお話も、私どもの基本的な考えというのは単一税率で、そうすればインボイスは必要ないのではないだろうかということでございます、いまのような形で、この時期のインボイスの導入というのはいかがなものかということを私どもは考えます。

そして今度の経済対策でもいくつか減税案も総理の口から出ました。私どもも少し腰を据えて日本の国の税制のあり方について議論を始めたいと思っております。世の中は大きく変わりました。ただ残念ながら抜本的な税制の改正というのはほとんどなかったのではないだろうかというふうに思います。1年、2年でできることではありませんけれども、ぜひ先生方も専門家として、この間の変化に対してどう税制はあるべきかということをご検討いただきますとありがたいと思っております。

結びになりますけれども、東会長、これからもよろしくお願い申し上げます。とくに税理士の先生方による後援会は、まだまだ与党の先生方に比べると、後援会の数の割合は少ないわけでございますが、一生懸命努力をいたしますので、ぜひこれからも後援会をよろしくお願いします。今日は本当におめでとうございます。

日本維新の会税理士制度推進議員連盟会長　美延　映夫　議員

各党の大先輩の先生方からインボイス制度についてお話がありました。これからやってみると難しいこと、困難なことがいろいろ出てくると思います。私の耳にも、ここがどうなっている、あそこがどうなっているというようなことも聞いております。またこは先生方としっかりお話をさせていただいて、お手伝いをさせていただきたいと、そのように考えている次第でございます。

先生方とのコミュニケーションはまだまだ足りない部分があると思いますので、忌憚のないご意見をいただきましてしっかり国政に反映していきたと思います。ぜひ今後ともよろしくお願いいたします。

結びになりますが、先生方の益々のご健勝、ご多幸、そしてそれぞれのご事業のご繁栄を祈念いたしまして、維新の会を代表してのごあいさつとさせていただきます。

国民民主党税理士制度推進議員連盟会長　古川　元久　議員

私は税というのは予算と違い「公平・中立・簡素」であることが非常に大事だと思いますが。納税者の皆さん方が不公平感をもたないようにするためには、理論が非常に大事です、そういった意味ではしっかりしているところがあると思います。

しかし、どんな理屈でも現実に適応していくとなると、理屈どおりに世の中というのはうまくいかない。経済などは特にそうです。経済理論上に経済が動いていくのであれば、経済学者はみんな大金持ちになっているわけです。

理屈は理屈としてあっても、実際に現場でうまくいくかというのは、そこはまた別の問題であって、そういう現場で理屈に沿って運用された場合に、どんな問題が出てくるか分かっていらっしゃるのが税理士の先生方だと思います。

だからこそこの10月から始まるインボイス、私も実は役所にいて消費税の設計をしていた頃、単一税率であっても、インボイスというのはヨーロッパなんか見れば必ずありますから、当たり前だと思っていました。

しかし、政治家になって、単一税率であればインボイスは必要ないと確信を持つに至りました。日本は税理士の先生方がいて、それこそもっと遡ると、江戸時代から中小零細も含めて帳簿を付けているのです。

世界で見たら日本のようにちゃんと帳簿を付けているような事業者はほとんどいないのです。そういうところはインボイスが必要なのです。日本のようなちゃんと帳簿を先生方が見てくれていて付けているようなところでは、単一税率だったらインボイスは必要ないのです。

税というのはやはり国民主権の国家において、主権者である国民の皆さんから納得されるものでなければなりません。そういう納得される税制にしていくためには、これはやはり先生方の存在というのは極めて重要なわけでありまして、そうした先生方の声をきちんと税制のなかに活かしていく。そのように行動していかなければいけないと思っております。

先生方に支えていただいているのは、単に中小企業の経営だけではなくて、日本の税制の信頼性、そうしたものも含めて、先生方がいるからこそ日本の税制が成り立っているんだと。そうした大きな社会的な使命、役割を果たされておられることをぜひご認識いただいて、今後ともご尽力いただければと思います。私どももそうした先生方と連携を取って、これからも行動しますことをお誓い申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。

第57回定期大会　質疑応答要旨

9月28日の第57回定期大会では、日税政の活動方針等に対し、活発な質疑応答が行われた。当日の議事録からその要旨を紹介する。

第1号議案　令和4年度運動経過並びに組織活動報告承認の件
第2号議案　令和4年度収支決算承認の件
第3号議案　日本税理士政治連盟規約一部変更の件
＜監査報告＞

第4号議案　令和5年度運動方針決定の件
第5号議案　令和5年度組織活動方針決定の件
第6号議案　令和5年度収支予算決定の件

質疑応答なし

柴崎代議員

柴崎代議員（東京）
運動方針のなかに税務行政のデジタル化を推進、それによって事務負担が必要最小限となるようにとあります。いま問題は電帳法です。紙で出すだけではなく電子で保存しろという制度ですが、弱小零細企業にとって非常にハードルが高いという声が大きく挙がっています。そこで運動方針にもありますように、事務負担が必要最小限になるよう、今後陳情活動をお願いする次第です。要望です。

一之瀬代議員（東京）
まず最初に組織委員長へお願いします。税理士政治連盟の組織は軟弱です。その強化について、組織委員会で行ったこと、今後の施策があれば説明いただきたいと思います。私は、組織強化は税理士の意識改革に関わっていると思います。例えば、東京税理士会では、1年前から会長並びに組織部長が48支部に出向いて、支部役員や支部会員と懇談して、政治連盟の立ち位置や政治連盟の重要性並びに必要性を説明して、政治連盟への加入勧奨などご支援をいただいています。

一之瀬代議員

2番目に、従来から思っていますが、簿記教育の義務化を強力に発信して実現していただきたい。日本経済の活性化のためには、簿記教育は必要不可欠だと思っております。令和5年度税制改正大綱に記帳水準の向上が書かれています。記帳水準の向上は適正な税務申告の確保のみならず経営状態を可視化し、経営の対応力を向上させる上でも重要です。個人事業者が正規の簿記の原則に従った記帳を行っているのは約3割です。申告者の3分の1超が10年以上簡易な簿記による記帳を続けている状況です。会計ソフトを活用することにより、正規の簿記を行うこと、複式簿記による記帳を更に普及させ一般化させ、所得税の青色申告制度の見直しを含めた個人事業者の記帳水準等を向上させるように書いてあります。記帳ができるためには簿記教育が必要だと思います。

6年度税制改正要望の基本的な考え方で、開業率が高まればわが国の経済の活性化にも資する、開業率を高めるためには、起業を促進する税制の構築が必要という文章がありますが、税制以前の問題として簿記の知識があれば起業、仕事ができる、具体的に自分の仕事が数値化できる、そういう教育をすべきだろうと思っています。

吉田組織委員長

吉田組織委員長
組織委員会でも、組織率の向上に向けて議論し、以前より、単位税政連にアンケートを実施してまいりました。税理士の意識改革が必要と提案をいただきました。まさにそのとおりです。税理士会と税政連は一体であると考えております。税理士会の要望の実現のためには、税政連はなくてはならない存在だということを改めて確認いただきまして、一体であるという理解を広めていただく必要があると考えています。アンケートで情報を集めますと、単位税政連でも組織強化に知恵を絞り、工夫を凝らし、あの手この手で努力をしていることが分かりました。税理士会と税政連が一体であることを、各税理士会会長からメッセージを発信する必要があります。税理士会会報に税政連の記事が経常的に掲載される、税理士会の会議で関連団体として税政連の発言の場が定期的に持たれる、こうしたことをやれているところがあるのが現状です。そこで全国同じような取り組みができないかと、太田日税政会長から神津日税連会長に、税理士政治連盟の活動への理解に向けた協力方のお願い文書を4月に発信させていただきました。このような文書を1回発信しただけで終わるわけではなく、今後税政連から税理士会に対して、同じように協力のお願いという文書を継続的に発信していくことも必要ではないかと考えております。

吉川幹事長

一般の税理士会会員が税政連活動に触れる機会はそれほど多くないと考えております。政治活動に関わるには、地元の後援会活動に参加することが分かりやすい機会だと思います。後援会活動のなかで積極的に勉強会を開いていただいて、税理士会会員が税政連の活動を知っていただく。後援会も会員増強が必要ですので、積極的に税政連の活動のPRに努めていただきたいと思います。

今後PRすべきことは税政連の目的の達成、いちばん分かりやすいのが税制改正要望の実現と考えております。年末の税制改正大綱が出たときに、税理士会会員向けに税理士会と税政連の要望が実現したことを発信できないかと考えております。ホームページはアクセスしないと分からないということがあります。いまさらFAXがいいのかどうかがありますが、要望が実現したことをタイムリーに発信できないかと思っています。税制改正要望は、日税連の税制改正建議の6月末機関決定を受けて決めております。この要望項目が、税理士会会員すべてに伝わっていない現状があります。そこで、日税連のマルチメディア研修で日税連調研部長が建議を説明する研修をできないかお願いしています。大綱に掲載された税制改正の内容は財務省の担当者が講師で研修していますが、大綱に掲載された内容よりも、我々の要望項目を研修として税理士会会員が受講し理解いただける仕組みが作れないか。要望実現には税政連の活動が重要だということを、研修に入れていただきたいということでお願しています。

原田代議員

吉川幹事長
簿記教育について、貴重なご提案ありがとうございます。これは昨年の税制改正大綱に、記帳水準の向上、正規の簿記の原則というのが出ています。岸田首相が貯蓄から投資へというように流れを変えると言っておりますが、ただ投資をすればいいというものじゃなくて、投資をするためにはその中身がわかっていないとだめです。貸借対照表は何であるか、損益計算書は何であるかということが分かっていないと投資にお金が向かわないと思います。正規の簿記の原則に従った簿記教育というのは、子どものときから必要でないかと思います。

田財務委員長

日税連調研部の会議に陪席していますので、そのなかで提案をして次回建議書に、正規の簿記の原則、簿記教育の向上を入れてもらえるよう努力をしていきたいと思っております。

原田代議員（千葉県）
令和5年度の収支予算について です。令和4年度収支計算書では、事業費予算が4900万で決算額が2500万、差額が2500万。会議費は、2500万で予算が1400万決算で、1000万ほど予算の余りがあります。そういう状況で、令和5年度予算を見ますと、前年より多い予算を組んでいます。その理由はなぜでしょうか。

田中代議員

田財務委員長
予算を組む際は、委員会の会議が年間何回開催するかで予算を上げていただいています。ここ3年間コロナでウェブ会議が多数開催されましたが、今後は対面開催を希望する委員会があります。以前、予算を使い切らなかったら次の予算はその分カットするというときもありました。しかし、税政連活動の活発化という意味から各会議、委員会の要望どおり予算組みをしました。

政治の世界は一寸先は闇です。政局によって衆議院解散がたびたび行われたときもありました。繰越額が大きく減少したときもありました。そうした意味で予算組みには神経を使っております。税政連活動の活発化という意味で、常に余裕を持った予算をあげております。必要な予算プラス余裕を持たせた予算組みをしていると、ご理解いただきたいと思います。

田中代議員（関東信越）
昨年12月20日に全国財務委員長会議が開催されました。各単位税政連の財務委員長などが、組織率の問題を検討して、単位税政連が大変な財政状況であることが明らかになりました。そこで単位税政連が日税政に納める分担金はそのままですが、活動助成金として税理士会会員数に応じて単位税政連に交付する金額が、前年度の倍の2000円にする予算が計上され、非常に活動しやすいと思います。

ところで、今回、旅費を関東信越税政連負担で代議員として参加しました。日本税理士政治連盟定期大会に単位税政連がなぜ旅費を負担して代議員出席するのでしょうか。

吉川幹事長
200人の代議員で旅費はかなりの金額になります。はたしてそれが日税政負担でいいのかどうか、そのへんもじっくり考えていかなければいけないと思います。いま単位税政連から会員1人当たり年1200円の分担金を納めていただいています。この3年間剰余金が出ましたので、助成といたしまして200円を単位税政連にお返しました。分担金は規約で1200円となっていますので、この金額を変えるには規約改正をしなければなりません、大会議案になります。政治活動ですので、どのような場合にどのような選挙が行われるか、そして我々の要望を聞いていただくために議員へどのような活動をしていかなければならないか、そういう活動のために使っていくのが単位税政連の皆様からの分担金だと思います。まことに申し訳ないのですが、現状をご理解いただいて、今後、財務委員会又は幹事会などで考えていきたいと思います。

菅原代議員

菅原代議員（東京）
インボイスについて要望です。ここから税理士の出番だと思っています。実際始まってみていろいろな問題が出てくると思います。そこで全国の税理士会員、現場での声を集めて、いろんな問題点を情報収集して、分析、検証していただきたいと思っています。これから議員の方とお会いするときに、インボイスどう?というような質問があると思いますので、税理士会としての声を届けていきたいと思っています。これからの陳情活動に関わることだと考えておりますので、税理士会と協調して検証を行っていただきたいと思います。要望です。

第7号議案　役員の任期満了に伴う改選の件
第8号議案　大会決議決定の件

質疑応答なし

定期大会懇親会を盛大に開催

152人の国会議員が来場

日税政は、9月28日の定期大会終了後、関係国会議員を招いて懇親会を開催した＝写真。当日は来賓として、木原稔防衛大臣、高市早苗経済安全保障担当大臣、神田憲次財務副大臣をはじめ、小渕優子自民党選挙対策委員長、山口那津男公明党代表、菅直人立憲民主党最高顧問、馬場伸幸日本維新の会代表など各党幹部らが多数出席し、税政連役員等となごやかに懇談した。来賓として出席した国会議員を紹介する。（敬称略・順不同・ゴシックは本人出席・党派は9月28日現在。「自」＝自由民主党、「公」＝公明党、「立」＝立憲民主党、「国」＝国民民主党、「維」＝日本維新の会、「無」＝無所属を表す。）

出席議員一覧

□東京税理士政治連盟

山田　美樹　東京1区　自
辻　清人　東京2区　自
松原　仁　東京3区　立
落合　貴之　東京6区　立
下村　博文　東京11区　自
岡本　三成　東京12区　公
柿沢　未途　東京15区　自
菅　直人　東京18区　立
末松　義規　東京19区　立
木原　誠二　東京20区　自
小田原　潔　東京21区　自
伊藤　達也　東京22区　自
小倉　將信　東京23区　自
井上　信治　東京25区　自
長島　昭久　比例東京　自
若宮　健嗣　比例東京　自
石原　宏高　比例東京　自
海江田万里　比例東京　立
武見　敬三　東京選挙区　自
丸川　珠代　東京選挙区　自
生稲　晃子　東京選挙区　自
竹谷とし子　東京選挙区　公
山口那津男　東京選挙区　公
塩村あやか　東京選挙区　立
片山さつき　比例　自

□東京地方税理士政治連盟

菅　義偉　神奈川2区　自
坂井　学　神奈川5区　自
古川　直季　神奈川6区　自
鈴木　馨祐　神奈川7区　自
笠　浩史　神奈川9区　立
田中　和徳　神奈川10区　自
小泉進次郎　神奈川11区　自
山際大志郎　神奈川18区　自
堀内　詔子　山梨2区　自
甘利　明　比例南関東　自
三谷　英弘　神奈川選挙区　自
浅尾慶一郎　神奈川選挙区　自
三原じゅん子　神奈川選挙区　自
佐々木さやか　神奈川選挙区　公
牧山ひろえ　神奈川選挙区　立
水野　素子　神奈川選挙区　立
松沢　成文　神奈川選挙区　維
永井　学　山梨選挙区　自

□千葉県税理士政治連盟

田嶋　要　千葉1区　立
小林　鷹之　千葉2区　自
渡辺　博道　千葉6区　自
齋藤　健　千葉7区　自
本庄　知史　千葉8区　立
奥野総一郎　千葉9区　立
森　英介　千葉11区　自
櫻田　義孝　比例南関東　自
門山　宏哲　比例南関東　自
石井　準一　千葉選挙区　自
猪口　邦子　千葉選挙区　自
臼井　正一　千葉選挙区　自
豊田　俊郎　千葉選挙区　自
小西　洋之　千葉選挙区　立

□関東信越税理士政治連盟

福島　伸享　茨城1区　無
額賀福志郎　茨城2区　自
葉梨　康弘　茨城3区　自
梶山　弘志　茨城4区　自
永岡　桂子　茨城7区　自
茂木　敏充　栃木5区　自
中曽根康隆　群馬1区　自
井野　俊郎　群馬2区　自
笹川　博義　群馬3区　自
福田　達夫　群馬4区　自
小渕　優子　群馬5区　自
村井　英樹　埼玉1区　自
黄川田仁志　埼玉3区　自
穂坂　泰　埼玉4区　自
枝野　幸男　埼玉5区　立
大島　敦　埼玉6区　立
柴山　昌彦　埼玉8区　自
山口　晋　埼玉10区　自
土屋　品子　埼玉13区　自
三ツ林裕巳　埼玉14区　自
若林　健太　長野1区　自
井出　庸生　長野3区　自
宮下　一郎　長野5区　自
尾身　朝子　比例北関東　自
石川　昭政　比例北関東　自
田所　嘉徳　比例北関東　自
牧原　秀樹　比例北関東　自
石井　啓一　比例北関東　公
福重　隆浩　比例北関東　公
小宮山泰子　比例北関東　立
務台　俊介　比例北陸信越　自
高鳥　修一　比例北陸信越　自
塚田　一郎　比例北陸信越　自
鷲尾栄一郎　比例北陸信越　自
上月　良祐　茨城選挙区　自
加藤　明良　茨城選挙区　自
小沼　巧　茨城選挙区　立
堂込麻紀子　茨城選挙区　無
髙橋　克法　栃木選挙区　自
清水　真人　群馬選挙区　自
矢倉　克夫　埼玉選挙区　公
上田　清司　埼玉選挙区　無

□近畿税理士政治連盟

上野賢一郎　滋賀2区　自
勝目　康　京都1区　自
泉　健太　京都3区　立
佐藤　茂樹　大阪3区　公
美延　映夫　大阪4区　維
伊佐　進一　大阪6区　公
北側　一雄　大阪16区　公
馬場　伸幸　大阪17区　維
山田　賢司　兵庫7区　自
渡海紀三朗　兵庫10区　自
松本　剛明　兵庫11区　自
山口　壯　兵庫12区　自
高市　早苗　奈良2区　自
田野瀬太道　奈良3区　自
石田　真敏　和歌山2区　自
宗清　皇一　比例近畿　自
谷川　とむ　比例近畿　自
大串　正樹　比例近畿　自
盛山　正仁　比例近畿　自
柳本　顕　比例近畿　自
奥野　信亮　比例近畿　自
こやり隆史　滋賀選挙区　自
西田　昌司　京都選挙区　自
太田　房江　大阪選挙区　自
松川　るい　大阪選挙区　自
石川　博崇　大阪選挙区　公
杉　久武　大阪選挙区　公
末松　信介　兵庫選挙区　自
伊藤　孝江　兵庫選挙区　公
堀井　巌　奈良選挙区　自
佐藤　啓　奈良選挙区　自
山本　香苗　比例　公

□北海道税理士政治連盟

道下　大樹　北海道1区　立
中村　裕之　北海道4区　自
和田　義明　北海道5区　自
東　国幹　北海道6区　自
伊東　良孝　北海道7区　自
逢坂　誠二　北海道8区　立
稲津　久　北海道10区　公
渡辺　孝一　比例北海道　自
堀井　学　比例北海道　自
鈴木　貴子　比例北海道　自
佐藤　英道　比例北海道　立
神谷　裕　比例北海道　立
荒井　優　比例北海道　立
長谷川　岳　北海道選挙区　自
船橋　利光　北海道選挙区　自
岩本　剛人　北海道選挙区　自
江渡　聡徳　青森1区　自
階　猛　岩手1区　立
鈴木　俊一　岩手2区　自
土井　亨　宮城1区　自
西村　明宏　宮城3区　自
御法川信英　秋田3区　自
金子　恵美　福島1区　立
秋葉　賢也　比例東北　自
亀岡　偉民　比例東北　自
金田　勝年　比例東北　自
津島　淳　比例東北　自
小沢　一郎　比例東北　立
田名部匡代　青森選挙区　立
櫻井　充　宮城選挙区　自
舟山　康江　山形選挙区　国

□東北税理士政治連盟

野田　聖子　岐阜1区　自
棚橋　泰文　岐阜2区　自
武藤　容治　岐阜3区　自
金子　俊平　岐阜4区　自
古屋　圭司　岐阜5区　自
古川　元久　愛知2区　国
工藤　彰三　愛知4区　自
神田　憲次　愛知5区　自
鈴木　淳司　愛知7区　自
牧　義夫　比例東海　立
吉田　統彦　比例東海　立
田島麻衣子　愛知選挙区　立

□東海税理士政治連盟

上川　陽子　静岡1区　自
井林　辰憲　静岡2区　自
小山　展弘　静岡3区　自
城内　実　静岡7区　自
源馬謙太郎　静岡8区　自
丹羽　秀樹　愛知6区　自
江崎　鐵磨　愛知10区　自
重徳　和彦　愛知12区　立
大西　健介　愛知13区　立
今枝宗一郎　愛知14区　自
根本　幸典　愛知15区　自
田村　憲久　三重1区　自
川崎ひでと　三重2区　自
鈴木　英敬　三重4区　自
塩谷　立　比例東海　自
宮澤　博行　比例東海　自
石原　正敬　比例東海　自
青山　周平　比例東海　自
渡辺　周　比例東海　立
中川　正春　比例東海　立
伊藤　渉　比例東海　公
大口　善徳　比例東海　公
若林　洋平　静岡選挙区　自
榛葉賀津也　静岡選挙区　自
平山佐知子　静岡選挙区　無
安江　伸夫　愛知選挙区　公

□名古屋・東海税理士政治連盟

藤川　政人　愛知選挙区　自
里見　隆治　愛知選挙区　公
斎藤　嘉隆　愛知選挙区　立
大塚　耕平　愛知選挙区　国
伊藤　孝恵　愛知選挙区　国

□北陸税理士政治連盟

田畑　裕明　富山1区　自
上田　英俊　富山2区　自
橘　慶一郎　富山3区　自
小森　卓郎　石川1区　自
佐々木　紀　石川2区　自
稲田　朋美　福井1区　自
髙木　毅　福井2区　自
野上浩太郎　富山選挙区　自
宮本　周司　石川選挙区　自
滝波　宏文　福井選挙区　自

□中国税理士政治連盟

石破　茂　鳥取1区　自
赤澤　亮正　鳥取2区　自
細田　博之　島根1区　自
高見　康裕　島根2区　自
逢沢　一郎　岡山1区　自
山下　貴司　岡山2区　自
橋本　岳　岡山4区　自
加藤　勝信　岡山5区　自
岸田　文雄　広島1区　自
平口　洋　広島2区　自
寺田　稔　広島5区　自
佐藤　公治　広島6区　立
小林　史明　広島7区　自
岸　信千代　山口2区　自
林　芳正　山口3区　自
湯原　俊二　比例中国　立
空本　誠喜　比例中国　維
舞立　昇治　鳥取・島根　自
青木　一彦　鳥取・島根　自
石井　正弘　岡山選挙区　自
宮沢　洋一　広島選挙区　自
森本　真治　広島選挙区　立
江島　潔　山口選挙区　自
北村　経夫　山口選挙区　自

□四国税理士政治連盟

小川　淳也　香川1区　立
玉木雄一郎　香川2区　国
大野敬太郎　香川3区　自
塩崎　彰久　愛媛1区　自
村上誠一郎　愛媛2区　自
井原　巧　愛媛3区　自
長谷川淳二　愛媛4区　自
中西　祐介　徳島・高知　自
磯崎　仁彦　香川選挙区　自
三宅　伸吾　香川選挙区　自
山本　順三　愛媛選挙区　自
鬼木　誠　福岡2区　自
宮内　秀樹　福岡4区　自
鳩山　二郎　福岡6区　自
城井　崇　福岡10区　立
武田　良太　福岡11区　自
原口　一博　佐賀1区　立
大串　博志　佐賀2区　立
西岡　秀子　長崎1区　国
今村　雅弘　比例九州　自
古川　康　比例九州　自
岩田　和親　比例九州　自
吉田久美子　比例九州　公
濵地　雅一　比例九州　公
大家　敏志　福岡選挙区　自
下野　六太　福岡選挙区　公
古賀　之士　福岡選挙区　立
野田　国義　福岡選挙区　立
河野　義博　比例　公

□南九州税理士政治連盟

木原　稔　熊本1区　自
坂本　哲志　熊本3区　自
金子　恭之　熊本4区　自
吉良　州司　大分1区　無
衛藤征士郎　大分2区　自
岩屋　毅　大分3区　自
渡辺　創　宮崎1区　立
古川　禎久　宮崎3区　自
宮路　拓馬　鹿児島1区　自
森山　裕　鹿児島4区　自
小里　泰弘　比例九州　自
保岡　宏武　比例九州　自
武井　俊輔　比例九州　自
馬場　成志　熊本選挙区　自
松村　祥史　熊本選挙区　自
松下　新平　宮崎選挙区　自
長峯　誠　宮崎選挙区　自

□沖縄税理士政治連盟

西銘恒三郎　沖縄4区　自
宮崎　政久　比例九州　自
國場幸之助　比例九州　自

□比例代表

谷合　正明　比　公
秋野　公造　比　公
柴田　巧　比　例
鈴木　宗男　比　例

写真で見る定期大会出席議員

宮澤博行防衛副大臣

木原稔防衛大臣

高市早苗経済安全保障担当大臣

馬場伸幸日本維新の会代表

菅直人立憲民主党最高顧問

山口那津男公明党代表

大塚耕平国民民主党政調会長

松川るい自民党副幹事長

小渕優子自民党選挙対策委員長

上野賢一郎自民党議連事務局長

片山さつき自民党議連副幹事長

西田昌司自民党議連幹事長

対応帳票カバー率 98% 達成！

～e-Tax、eLTAXで申告できる帳票のうち、98%の帳票を作成できます～

▌法人税の達人

法人税（国税）と地方税の申告書を作成できます。

358 帳票

▌所得税の達人

個人の申告する所得税の申告書・決算書・内訳書・その他の添付書類を作成できます。

168 帳票

※対応帳票の大幅拡充は、Professional Edition、Standard Editionでの対応となります。

全国税理士データ通信協同組合連合会（財務大臣認可）　TEL：03-3350-4522　FAX：03-3350-4628　http://www.zenkoku-data.net　E-mail：jim-k@zenkoku-data.net

東京地方税理士会データ通信協同組合 TEL:045-243-0561
中部税理士データ通信協同組合 TEL:052-932-1212
東京税理士会データ通信協同組合 TEL:03-3341-0260
中国税理士データ通信協同組合 TEL:082-246-0088
四国税理士データ通信協同組合 TEL:089-923-5570
東北税理士データ通信協同組合 TEL:022-293-0503
近畿税理士データ通信協同組合 TEL:080-8533-6412
関東信越税理士データ通信協同組合 TEL:045-243-0561
北海道税理士データ通信協同組合 TEL:011-876-0830

日本税理士政治連盟 役員・委員名簿

名誉会長
太田直樹（東海）

会長
東秀優（南九州）

副会長
名倉明彦（東京）、田中克明（東海）、小林俊一（関東信越）、鈴木崇晴（東京地方）、美保哲夫（千葉県）、那須弘敬（近畿）、名越隆雄（北海道）、工藤重信（東北）、平昌彦（名古屋）、森陰輝夫（北陸）、井上博夫（中国）、橋本孝志（四国）、永松雄一郎（九州北部）、宮本律夫（南九州）、羽地明人（沖縄）

総務
足達信一（東京）、北島則行（東京地方）、石原健次（近畿）

幹事長
吉川裕一（東京）

副幹事長
秋山典久（関東信越）、有坂信彦（東北）、坂田覚（東京）、長谷川隆史（近畿）、小島善弘（名古屋）、河合省吾（東海）谷幹夫（北海道）、岩佐誠志（四国）

幹事
菅原祥元（東京）、中川公登（東京地方）、伊豆倉博幸（千葉県）、岸生子（関東信越）、旭輝明（近畿）、渡部喜彦（北海道）、熊田耕治（東北）、神戸秀夫（名古屋）、中川直之（東海）、中村淳（北陸）、山中庸祐（中国）、大伴直人（四国）、中村伸一（九州北部）、下山剛矢（南九州）、石川正剛（沖縄）

会計監事
渡邉文雄（東京）、加藤武人（千葉県）、大多和則之（東海）

顧問
平山玲昱（東京）、狩野七郎（東京地方）、山川巽（東京）、池田隼啓（近畿）、小川令持（名古屋）、小島忠男（東京地方）、神津信一（東京）

相談役
瀧浪貫治（東京地方）、江波戸秀記（千葉県）、井部俊一（関東信越）、玉井政利（北陸）、國仲勝則（沖縄）、三堀孝夫（東京地方）、平野芳和（千葉県）、久保直己（近畿）、青木正（東北）、菱田裕之（名古屋）、重近實（中国）、清藤智彦（四国）、上村常憲（九州北部）

政策委員会
【委員長】秋山典久（関東信越）
【委員】湊昭子（東京）、城田英昭（東京地方）、原口哲也（関東信越）、池田直樹（近畿）、渡部喜彦（北海道）、千葉勇喜（東北）、倉地茂雄（名古屋）、梅村圭輔（東海）、能登宏和（北陸）、大寺健司（四国）、加藤誠貴（南九州）

財務委員会
【委員長】有坂信彦（東北）
【委員】佐藤弘毅（東京）、齋藤忠広（千葉県）、田中操（関東信越）、額田朋子（近畿）、成瀬廣（東北）

組織委員会
【委員長】坂田覚（東京）
【委員】水谷治（東京）、鈴木峰陽（東京地方）、千代延英紀（千葉県）、堀内義広（関東信越）、小寺隆弘（近畿）、豊田泰史（名古屋）、林幸弘（東海）、酒井嘉一（中国）、田村健（九州北部）

国対委員会
【委員長】長谷川隆史（近畿）
【委員】大美賀功貴（東京）、砂田俊二（東京地方）、曲山博（千葉県）、小口秀一（関東信越）、和田浩孝（近畿）、平野重善（北海道）、竹石淳一（東北）、谷口賢治（名古屋）、加藤浩道（東海）、高木悦子（北陸）、楠部誠（中国）、大伴直人（四国）、古賀直（九州北部）、本田洋一（南九州）、亀川昌克（沖縄）

広報委員会
【委員長】小島善弘（名古屋）
【委員】森下基樹（東京）、藤原徳仁（東京地方）、大内晴美（千葉県）、小野朝嗣（関東信越）、矢田善久（近畿）、森智恵子（東北）、籔本裕信（名古屋）、加茂隆久（東海）

後援会対策委員会
【委員長】河合省吾（東海）
【委員】香山正男（東京）、石井正夫（東京地方）、新井正（関東信越）、山本敬三（近畿）、森下浩（北海道）、長谷川光政（東北）、小原香織（名古屋）、野地洋彰（東海）、荒神五師（中国）、志村俊郎（九州北部）

単位税理士政治連盟 会長・副会長・総務会長・幹事長名簿

東京税政連
【会長】名倉明彦
【副会長】吉川裕一、小林英理子、田尻吉正、坂田覚、平野弘道、越澤靖久
【総務会長】平井貴昭
【幹事長】菅原祥元

東京地方税政連
【会長】鈴木崇晴
【副会長】一ノ瀬裕、中込公人、砂田俊二、城田英昭、佐野光明、六槍勝明、藤田伸哉、石井正夫、山田隆廣、大澤清治、鈴木峰陽、野本優子、木島裕子
【幹事長】中川公登

千葉県税政連
【会長】美保哲夫
【副会長】原田豊行、小島紀子、澤昇、増嶋英昭、鈴木隆夫、錦織良光
【幹事長】伊豆倉博幸

関東信越税政連
【会長】小林俊一
【副会長】大石敬、秋山典久、内田茂行、若山実、星野昌弘、石原仁、岸生子、池淳一、成澤優一朗
【幹事長】岸生子

近畿税政連
【会長】那須弘敬
【副会長】旭輝明、山本眞市、小畑雅人、伊田憲司、後安宏彦、室谷澄男、田達満、岡本正、後藤加代子
【総務会長】橋本光世
【幹事長】長谷川隆史

北海道税政連
【会長】名越隆雄
【副会長】小城公明、松井克彦、杉山一豊、奥山栄治、堀井修一、木村聡、今野美香
【幹事長】谷幹夫

東北税政連
【会長】工藤重信
【副会長】武田孫市、三河春彦、熊田耕治、鈴木明夫、長谷川有実、高橋龍二、吉田恵幸
【幹事長】有坂信彦

名古屋税政連
【会長】平昌彦
【副会長】村瀬三浩、小松佳史、森靖
【総務会長】岩田勝司
【幹事長】小島善弘

東海税政連
【会長】田中克明
【副会長】加藤仁康、高林良樹、小西宏、松井寛人、三浦健司、大畑真也
【総務会長】土屋巧
【幹事長】中川直之

北陸税政連
【会長】森陰輝夫
【副会長】能登宏和、河合孝彦、高木悦子
【幹事長】中村淳

中国税政連
【会長】井上博夫
【副会長】藤中秀幸、峯松孝至、姫井繁彦、齋藤邦康、安原満
【幹事長】山中庸祐

四国税政連
【会長】橋本孝志
【副会長】西木敏明、竹村俊一、日下雅史、金子長彦
【総務会長】日下雅史
【幹事長】岩佐誠志

九州北部税政連
【会長】永松雄一郎
【副会長】丸山二也、赤木保之、岡正典
【総務会長】末吉幹久
【幹事長】中村伸一

南九州税政連
【会長】宮本律夫
【副会長】外薗秀夫、此本英一郎、小川廣之、津山忠雄
【総務会長】臼井清也
【幹事長】下山剛矢

沖縄税政連
【会長】羽地明人
【副会長】國仲勝則、齋藤栄、畠中優子
【総務会長】宮島達彦
【幹事長】石川正剛

広報委員会編集後記

小島善弘委員長（名古屋）
今期の広報委員会は、コロナ禍の中で始まり、その対応に追われながらの大変な2年間でした。その中でも、日税政の活動の報告や、情報の提供などを出来る限り会報に掲載してきました。今後も会報のご愛読をよろしくお願いします。最後に、広報委員会の皆様、また、事務局の皆様、ありがとうございました。

矢田善久副委員長（近畿）
広報委員会は、日税政の活動状況を会員に報告し理解を得るという重責を担っている。その目的達成のために委員会のメンバーは、全国から年8回日税会館に参集して、機関紙発行のために懸命に議論を重ねて編集作業を行っている。だから会員の先生方は送られてきた「日本税政連」を直ぐに捨てることなしに、是非ともご一読いただくことをお願いしたい。毎回、事務局の皆さんには大変お世話になっていることに感謝を申し上げたい。あともう一期、お世話になりますので宜しくお願い致します。

森智恵子副委員長（東北）
今期は従来の対面の会議へ戻ったことにより、編集会議でさまざまな意見をきくことができ更なる勉強になりました。3期目に突入することになりましたので引き続き広報委員として、日税政と全国の各税政連の活動状況を広報していきたいと思います。

籔本裕信副委員長（名古屋）
「季節が移ろう」とかつて人は言いましたが、今年のような暑くて長い夏を経験したらどう思うでしょうか。広報委員会も編集後記を書く季節になりました。政治という世界をいろいろな方向から見させてもらいました。「政治」はあまり移ろわないで、正しい方向に進んでいただきたいものです

小倉修委員（東京）
自身の所属している税政連から全国版の広報紙の編集作業に参加したことで、改めて視野が広がったことを実感した2年間でした。共通の課題である組織率の増強はもとより、税理士制度の発展と中小企業に過重な負担をもたらす税制改正とならないよう、納税者のための真の代表を国会に送るという崇高な目標のために、今後も活動に期待しています。

藤田伸哉委員（東京地方）
池野光弘先生、中川常彦先生、小島善弘先生、3人の広報委員長の下で通算8年間、広報委員を務めました。各年の委員の皆さんも各単位税政連、税理士会で広報を経験された方々で、厳しい目での原稿校正には大変勉強になりました。また、昨年、今年といつもの定期大会に戻り開催され良い思い出ができました。事務局スタッフにもご迷惑をおかけしたと思いますが大変お世話になりました。

大内晴美委員（千葉県）
税理士会は税理士法に基づく特別法人であるのに対して、税政連は政治資金規正法に基づく団体であること、税理士会の要望を実現するための政治活動を税政連が受け持っていること。こうしたことを、広報委員となり、機関紙を通じて、会員の皆様に広報することの重要性を認識した2年間でした。貴重な経験をさせていただき、委員長、委員、事務局の皆さんありがとうございました。もう一期よろしくお願い致します。

三輪洋之委員（関東信越）
広報委員に就任した当初は、コロナ禍でガラガラだった東京駅も、今では以前の様に多くの人々が往来するようになりました。全国から集まる委員との編集作業はとても有意義で、任期中の委員会が対面で行えたことは、本当に良かったと思います。小島委員長をはじめ委員、事務局の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

佐藤憲司委員（東海）
広報委員会は、日税政としてどう伝えるべきかを学ぶ良い機会となりました。各単位税政連の違いも大変勉強になりました。また、懇親会で何度も帰る新幹線を変更しながら飲んだことはいい思い出です。小島委員長、広報委員、事務局の皆さん、短い期間でしたが大変お世話になりました。

2023年11月末まで

第38回 全国統一キャンペーン実施中

関与先をご紹介ください！

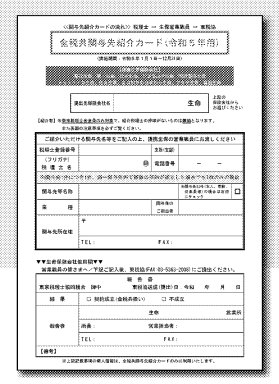
全税共のVIP大型総合保障制度・全税共年金は、
以下のようなニーズを抱えている関与先にお勧めです。

1. 大型の保障で事業承継対策を万全にしたい
2. 幹部社員の万一の保障や退職金の備えがしたい
3. 安心して医療が受けられる保障が欲しい
4. 公的年金を補完する年金制度に入りたい

「VIP大型総合保障制度」「全税共年金」
の拡販にご協力をお願いいたします

ご紹介頂く際には「関与先紹介カード」をご利用ください

本共栄会は各地の税理士協同組合と協力して、VIPの拡販を目的とした「関与先紹介カード」による関与先紹介運動を進めています。紹介カードの詳細は所属の税理士協同組合に直接お問い合わせください。



◀「関与先紹介カード」

キャンペーンは、以下11社の生命保険会社の協力を得て進められています。
期間中、税理士事務所を訪問する営業職員にあたたかい対応をお願いいたします。

キャンペーン参加保険会社
・朝日生命　・第一生命　・日本生命　・ジブラルタ生命　・明治安田生命　・メットライフ生命
・住友生命　・SOMPOひまわり生命　・アクサ生命　・富国生命　・三井住友海上あいおい生命

キャンペーンの成果は、税理士業界並びに社会公共の発展に役立てられています

円滑な事業承継等を実現する

VIP大型総合保障制度

充実したプランで関与先を応援

●経営者大型保険（集団扱定期保険）
●経営者保険総合プラン
●経営者スーパープラン

＜募集保険会社＞
●朝日生命 ●第一生命 ●日本生命 ●ジブラルタ生命 ●エヌエヌ生命
●明治安田生命 ●メットライフ生命 ●住友生命 ●SOMPOひまわり生命
●アフラック ●アクサ生命 ●富国生命 ●三井住友海上あいおい生命
●オリックス生命 ●FWD生命

●団体所得補償保険（無事故戻し20%）◀保険料は団体割引30%
引受保険会社／損保ジャパン、東京海上日動火災

●新・団体医療保険 ◀保険料は団体割引30%
引受保険会社／損保ジャパン

●介護・がん補償保険
引受保険会社／東京海上日動火災

●ビジネスマスター・プラス（事業活動総合保険）
引受保険会社／損保ジャパン

税理士・事務所職員、関与先等関係者のための

全税共年金（拠出型企業年金保険）

公的年金の補完・老後の備えに

●掛金は月々１万円から
生活設計に合わせて掛金を自由に設定できるため、無理なく無駄なく将来の設計ができます。
１口５千円、２口以上40口まで設定できる月払に加え、一括払もあります。
月払と一括払を組み合わせることで、より計画的な資産形成をすることが可能です。余裕資金の運用方法のひとつとしてご検討ください。（一括払は月払に比べ、積立金（脱退一時金額）が掛金累計額を早く上回ります。）

●年金の受取方法は３種類
給付金請求時に次の３種類から選択できます。
①10年確定年金
②15年確定年金
③10年保証期間付終身年金
※年金に代えて一時金でも受取ることができます。

＜取扱保険会社＞
●第一生命 ●日本生命 ●富国生命 ●住友生命 ●明治安田生命

全国税理士共栄会

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-8 日本税理士会館４階　TEL 03（5740）8331（代）　FAX 03（5740）8333

全税共の事業はホームページでご案内しています　全税共　検索　http://www.zenzeikyo.com/